

神・人の生活をする (1)

新しい復興のために、弟子に構成されて神・人の生活をし、今日の勝利者となる

聖書：I ペテロ 2:21. マタイ 14:19, 22-23. 24:45-51.

ヨハネ 10:30. 5:19, 30. 7:18. 14:30 後半

I. 神の必要は、団体の人が、神聖な啓示の高嶺を通して、彼の恵みによって起こされて、この啓示にしたがった生活をする事です：

- A. 復興とは、わたしたちが見てきたビジョンを実行することです。
- B. わたしたちが神・人の生活を実行するなら、すなわちキリストのからだの実際である生活を実行するなら、自然に団体のモデルが、すなわち神のエコノミーの中に生きるモデルが、建て上げられます。このモデルは召会歴史における最大の復興となり、主の再来をもたらします。

II. キリストの弟子たちが (マタイ 5:1. 28:19) 弟子に構成されたのは、神・人のモデルとしてのキリストの地上での人の生活を通して、すなわちキリストが人性の中でご自身を否むことによって神を生きることを通してでした (ヨハネ 5:19, 30)。この事が人に関する彼らの観念を根本的に変えました (ピリピ 3:10. 1:21 前半)：

- A. わたしたちの生活は、最初の神・人であるキリストの生活のモデルのコピー、複製であるべきです——I ペテロ 2:21. マタイ 11:28-29. エペソ 4:20-21. ヨハネ 10:30. 5:19, 30. 7:6, 8, 18。
- B. 弟子たちの中へと吹き込まれた命と実際の霊は、彼らを導いて、彼らが三年半の間、主と共にいた時に主について観察したことの実際の中へともたらしました——16:13. 20:22：
 - 1. 最初の神・人の務めの開始の時、彼はバプテスマされてすべての義を成就し、彼の肉体 (彼の人性——1:14. ローマ 1:3. 8:3) によれば、彼は何の役にも立たず、ただ死と葬りにだけふさわしいことを認識していました——マタイ 3:15-17。
 - 2. 彼は五つのパンと二匹の魚をもって五千人を養う奇跡において、彼の弟子たちを訓練して彼から学ばせました (11:29)：
 - a. 彼が天を見上げて五つのパンと二匹の魚を祝福したことは (14:19)、祝福の源が遣わされた者であるご自分ではなく、遣わす方である御父であることを、彼が認識していたことを示します。
 - b. 彼は群衆と共に奇跡の結果にとどまらずに、彼らから立ち去りました。それは、彼が山の上で祈りの中で御父と共にいるためでした——22-23 節. ルカ 6:12. 参照、雅 1:1-4。
 - 3. 彼は弟子たちに祈ることを教えて、神のエコノミーのために、神のみこころを行なわせ、神への信仰を持ち、疑わないようにと教えました——マタイ 21:21-22. マルコ 11:22-24。
 - 4. 彼は神と接触する生活をし (1:35. ルカ 5:16. 6:12. 9:28. ヘブル 7:25)、絶えず神の臨在の中を生きました (使徒 10:38 後. ヨハネ 8:29. 16:32)。また彼は人々と接触する生活をし、神を彼らの中へと供給して、彼らを神の新約エコノミーの

ヨベルの中へともたりました（ルカ 4:18-19、ヘブル 8:2、参照、創 14:18、使徒 6:4）。

5. 彼の中では、この世の支配者であるサタンは何も持っていませんでした（何の立場も、何の機会も、何の望みも、どんな事における何の可能性も持っていませんでした）——ヨハネ 14:30 後半。

C. わたしたちはまた、キリストによって遣わされた人たち（彼の奴隷たち、すなわち彼の複製）の内在的な模範を観察することによって、弟子に構成されて、神・人の生活をします。（「わたしはウオッチマン・ニー兄弟の振る舞いを十八年間、回復の中で観察してきました。ニー兄弟を観察したことはすべて、わたしを弟子に構成するものとなりました」——「バイタルグループ」、第2章）——I コリント 4:17、ヘブル 13:7、ピリピ 3:17、I テモテ 4:12。

D. 主のモデルにしたがって神・人の生活をする唯一の道は、わたしたちの全存在をミングリングされた霊の上に置き、ミングリングされた霊にしたがって歩き、生き、存在することです——ローマ 8:2, 4, 6, 16、I コリント 6:17、ローマ 10:12、エペソ 6:17-18、I テサロニケ 5:16-20、II テモテ 1:6。

III. マタイ第 24 章 45 節から 51 節が啓示しているように、わたしたちは神・人の生活をするために、忠信になって神を食物として神の家族の人たちに与えて、わたしたちが来たるべき王国においてキリストをわたしたちの褒賞として勝ち取るようにしなければなりません：

A. 神は彼の家族の上に忠信で思慮深い奴隷たちを、家庭の管理者、執事、供給の経路として任命して、時に応じて彼の民に食物を与えるようにさせました——I テモテ 1:4、マタイ 24:45、I コリント 9:17、エペソ 3:2、I コリント 4:1、I ペテロ 4:10、ピリピ 1:25。

B. 彼らに食物を与えるとは、召会の中で、神の言葉とキリストを命の供給として信者たちに供給することを指しています。命を与える霊であるキリストは、わたしたちの食物であり、命の言葉の中で具体化され、実際化されています——マタイ 24:45、ヨハネ 6:57, 63, 68、使徒 5:20：

1. 主をわたしたちの霊的な食物として享受して、わたしたちが他の人を養うことができるようになるために、わたしたちは彼の言葉を用いて祈り、思い巡らして、注意深く詳細に考察することを通してそれを味わい、享受しなければなりません——エペソ 6:17-18、詩 119:15、エゼキエル 3:1-4。

2. わたしたちは祈りと言葉の務めに自分をささげなければなりません——使徒 6:4、II コリント 3:6, 8、ヨハネ 7:37-39、参照、ヘブル 7:25、8:2。

C. わたしたちが、心の中でわたしたちの主人は来るのが遅れると言うことは、今の邪悪な時代を愛し、主の出現を慕わない（愛さない）ことです——マタイ 24:48、II テモテ 4:8, 10、参照、使徒 26:16：

1. わたしたちはどん欲に気をつけなければならず、自分のために宝を蓄えずに、神に対して富んでいなければなりません——ルカ 12:16-20、II コリント 6:10、エペソ 3:8。

2. 「ロトの妻を思い出さない」は、この世を愛する信者たちに対する厳粛な警告

です——ルカ 17:31-32. 参照、ローマ 1:21, 25。

3. わたしたちは目を覚まして祈り求めて、主の来臨の日が罨のように、突然わたしたちに襲いかかることがないようにしなければなりません——ルカ 21:34-36. 参照、マタイ 2:3。

D. わたしたちの奴隷仲間を打ちたたくとは、仲間の信者たちを虐待することです——24:49. 使徒 9:4 :

1. わたしたちは自分の仲間の信者たちを裁いたり、罪定めしたりしてはならず、彼らに対して親切で情け深くあり、神がキリストにあってわたしたちを赦してくださったように、彼らを赦さなければなりません——ルカ 6:37. エペソ 4:31-32。
2. わたしたちは自分の兄弟たちをののしったり、批判したりしてはならず、彼らを自分自身よりすぐれていると思わなければなりません——I コリント 6:10. ピリピ 2:3, 29。
3. わたしたちは自分の仲間の信者たちの上に君臨してはならず、奴隷として彼らに仕えて、命を与える霊である復活したキリストをもって彼らを養わなければなりません——I ペテロ 5:3. マタイ 20:25-28. 参照、民 17:8。

E. 酔っぱらいどもと共に食べ飲みするとは、この世的な事柄に酔いしれた、この世的な人々と交遊を持つことです——マタイ 24:49. 参照、エペソ 5:18 :

1. 信者の神聖な性質と聖なる身分のゆえに、彼らは未信者たちと同じくびきにつながれるべきではありません。これは結婚や事業にだけでなく、信者と未信者の間のあらゆる親密な関係に適用されるべきです——II コリント 6:14. I コリント 15:33. 参照、箴 13:20。
2. 神・人の生活をするために、わたしたちは若い時の欲から逃れ、純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、すべてを含むキリストを追い求めなければなりません——II テモテ 2:22。

IV. 「わたしたちはみな神・人の生活をしたいと宣言すべきです。最終的に、神・人は勝利者、勝利を得る者、エルサレムの中のシオンとなります。これが歴史の中で決して見られたことのない新しい復興をもたらし、この時代を終結させます」——「歴代志上下ライフスタディ」、第4章。